

会議録

会議名	平成29年度第2回小金井市児童館運営審議会		
事務局(担当課)	児童青少年課		
開催日時	平成29年11月8日(水) 午前10時～午前11時50分		
開催場所	小金井市 本町児童館		
出席者	委員	倉持会長、緒方委員、清水委員、吉田委員、関委員、岩重委員、山田委員、中川委員	
	その他		
	事務局	大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部長、伏見課長、田中係長、森主査、大嶋主査、山田主任、前田主任、野村主事、東児童館(高野マネージャー)	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1名
傍聴の不可・一部不可の場合はその理由			
会議次第	<p>議題</p> <p>1 開会 (館内見学)</p> <p>2 議題 (1) 児童館事業について (2) その他</p> <p>3 閉会</p>		
会議内容	<p>○ 館内見学</p> <p>本町児童館2階西側(本町児童館集会室兼ほんちょう学童保育所育成室)について、9月からの学童との併用により、午後2時以降は2階が使えず児童館利用が制限されてきている。現状について利用者からの声はどうか。この地域は子どもが確実に増え、本町小でも児童数が増えることから、児童館でも子どもの安心・安全、暮らしとしての場所の確保をお願いしたい。(中川委員・岩重委員・清水委員)</p> <p>→ 自由来館の乳幼児親子・小学生からは不便との声が出ている。夏休みの事業や土曜日には調整しており、また上の原会館の空き状況次第で使用させていただく等の対応は行っている。(大嶋主査)</p> <p>→ 学童の大規模化があり、同時に、全体的な子どもの居場所の問題がある。本町では放課後に子どもが活動する場所自体、大きな問題だが、少し離れたところには図書館やプレーパークもある。中長期的には児童館自体も老朽化し、市全体でも老朽化した公共施設、学校を中心とした建物の更新、再配置が課題。必ずしも現状がベストではなく</p>		

暫定的対応であり、空いている物件や土地等も引き続き注視している。当面、様子を見つつ改善できる点は改善させていただきたい。今の時点では時期など明言できない状況で大変恐縮だが、重要な課題と認識していることで、ご理解願いたい。(大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部長)

○ 東児童館委託先再選定に係るプロポーザル選定の途中経過について、一次選考までの途中経過を報告。(田中係長)

## 2 議題

### (1) 児童館事業について

○ 本日の配布資料と現状の課題(※1)に関する説明

児童館では児童館運営審議会答申「児童館の業務運営の簡素・効率化について」(平成17年)を受けて、東児童館委託(平成18年10月)以降、事業内容を充実させてきた。具体的には、①常設子育てひろば、②開館時間延長、③中高校生世代向き夜間開館事業だが、④少ない予算でのサービスの拡充、の見地も含め、修正や変更、追加など総合的に今後の小金井市の児童館事業全体の方向性を含めて、本日の資料を参考に忌憚のないご意見をお願いしたい。(田中係長)

※1 アクションプラン2020における児童館、児童青少年係の人員に関する検討課題、第4次小金井市基本構想・後期基本計画の一小南小地区児童館整備も含めた児童館のあり方の検討状況と課題。

○ 常設子育てひろばについて

常設子育てひろば事業は非常によい取り組み。とはいえ本町児童館や貫井南児童館では現状の状況やスペースから東児童館や緑児童館と同様に実施するのは難しいのではないかと。そもそも全館同じでなくてもよいのではないかと。(岩重委員、中川委員、山田委員、倉持会長)

○ 開館時間延長・夜間開館について

夜間開館に来ている中・高校生の参加者について、顔ぶれは同じ子が多いのか。(中川委員)

→東児童館、貫井南児童館ともに10～20人前後で同じ顔ぶれが多いが、高校生やバンドスクール参加の子など、隔週やイベント毎で顔を出す子もいる。(山田主任・高野マネージャー)

本町・緑児童館の利用者で貫井南・東児童館の夜間開館を利用している例はあるのか。また、貫井南・東児童館の夜間開館における職員体制はどうか。(山田委員)

→貫井南の行事に参加する例は聞くが、それ以外は上の原公園、緑センターなどの周辺施設利用が多いと思われる。(大嶋主査・森主査)

→貫井南もスタジオ利用以外は基本的に近隣の子が利用している。職員体制は正規職員1～2名の時差勤務と学生ボランティアでの対応。

(山田主任・高野マネージャー)

→職員数については単純に金額で比較できない部分。委託である東と直営の貫井南では非常勤職員の人員体制で少し違っている面があるのではないか。(倉持会長)

17時30分は季節によっては小学生に一人で帰らせるのが心配な時間。季節毎、学年毎で閉館時間を分けられないか。(中川委員・山田委員)

→小学校が16時下校も多いため17時閉館では遊ぶ時間が確保できない。18時閉館もそれなりに良い。帰宅時間は各家庭で判断すればよい。(岩重委員)

→利用している年齢、各家庭の親御さんの働き方、考え方など、それぞれの事情に応じた利用の仕方をしてもらうのが一番いいが、一律にはなかなか難しいのではないか。(倉持会長)

東児童館の専門相談での子育て相談と思春期相談、他館も含めた職員が相談を受け、子育て世代の見守りや不登校の受け皿等を努める、地域の親子の見守りはとても大事。相談を受けたときに、学校以外の専門機関などとも連携をとっているのか。(清水委員)

→専門相談事業以外に各館事業の中の講演会の中でも相談会をやっているが、目指しているのは、相談につながる気づきの部分。虐待の疑いは保護者との関係以前に市のルールにのっとって対応しなければならないが、それ以外は基本的に保護者との関係の中で、発達支援センター、子ども家庭支援センター、大学の専門相談事業などを薦める。不登校も恒常的に行けない子と日によってさぼってしまう子の2種類がある。保護者の承諾なしに学校や他機関と関係を結ぶというのは難しい。(森主査)

委託館と直営館の市負担額の比較で本町児童館が他館より低いのが、これによって職員に負担がかかっていることはないのか。(関委員)

→資料説明のとおり、正規職員、非常勤の配置の関係で、本町児童館は正規職員2名、非常勤職員1名のため、市の負担額という表の表示上は金額が他館より少なくなるが、他館からの応援や臨時職員等の対応を含め、問題なく運営している。(伏見児童青少年課長)

北町センターの図書館フリースペースに中学生が多く来ている。本町児童館が閉館している時間でも、場所があれば子どもはそちらに集まるようだ。(関委員)

	<p>→他の公民館でも小学校高学年～中学生が集まっていると聞く。子ども本人がいいと思う居場所はどこなのか。同時に大人が安心できる場所が確保されているのがよい。</p> <p>(2) その他</p> <p>「平成29年度小金井市児童館四館合同行事 じどうかんフェスティバル2017～ここからはじまる物語～」を11月26日(日)午前11時から午後4時まで小金井第三小学校の体育館をお借りして実施予定。(森主査)</p> <p>次回の日程(2月中旬予定)</p>
資料・配布物	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託館と直営館の比較</li> </ul> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町児童館2階西側「本町児童館集会室 兼 ほんちょう学童保育所育成室」について(次第裏面記載。市ホームページより)</li> <li>・小金井市東児童館業務委託評価報告書(平成23年9月発行 抜粋)</li> <li>・小金井市東児童館業務委託評価報告書(平成29年3月発行 部分)</li> <li>・児童館たより(平成29年12月号)</li> <li>・青少年育成ハンドブック(平成29年 東京都こころの東京革命協会)</li> </ul>
その他	なし
伏見児童青少年課長	<p>おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。ただいまから平成29年度第2回小金井市児童館運営審議会を開催いたします。</p> <p>本日、山中委員並びに松田委員におかれましては、公務によりご欠席の旨ご連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>児童館運営審議会では、児童館を会場として開催させていただく会議を設けておまして、2年間で市内4館全てを見ていただくようにしてございます。本日は本町児童館を会場とさせていただいておりますので、会議に先立ちまして、館内の見学をお願いしたいと存じます。参考といたしましてお配りしました次第の裏面にあります「本町児童館2階西側『本町児童館集会室兼ほんちょう学童保育所育成室』について」、こちらをお持ちいただければと存じます。それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(館内見学)</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。お疲れ様でした。</p> <p>では、見学の場でもいろいろ質問させてもらったところがあると思うのですが、見学してみても質問したいことや確認したいこと、あるいは何かお気づきになられた点があれば、お願いします。いかがでしょうか。</p>

中川委員	<p>中川です。実際、部屋を見てみて、午後2時以降は2階が使えないということで1階だけになってしまって、さらにグループ活動が火曜日、水曜日、金曜日の午後にある。それで1つ部屋がつぶれてしまうのだなと思うと、やはり部屋数が少ないし、私も目にするところがあるのですが、廊下に群がって、はみ出て遊んでいるので、やはり何か怪我だとか、そういう心配もすごくあるなと思いました。スペース的にも狭いとすごく感じました。</p>
倉持会長	<p>9月から新しくやり方が変わり、2階の集会室を学童保育所と児童館の乳幼児事業で併用している件ですね。ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p>
清水委員	<p>清水です。今、中川さんがおっしゃった部屋の感覚は、同じことを常日ごろ思っていますが、本町児童館の近くに住んでいるものですから、よく拝見していて、実際、どうやって事業を改善させているかというのを目にする機会があるのですけれども、やはり学童が増えて去年は本町小の一室を借りていたのが、またこちらに戻ってきている形になっているものですから、そこは児童館利用者の利用の仕方がとても制限されてきているな、ということを感じます。本町5丁目は今マンションとか戸建てが増えていまして、人口がすごく増えているような状況ですね。</p> <p>とても住むのにいいところなものですから、やはり子育てにいいということでこちらに住まわれる方も多いと思うんです、児童館も近いし、ということで。そういう方たちが実際に住んでみたら、児童館は人数が多くて、というようなことを思うんじゃないかなというのは心配しています。だから、その辺は児童館利用者のために改善を市のほうでも考えてくださっていると思うんですけれども、改善できるところは改善していく。この辺は土地も高いので別の施設を、というのはなかなか難しいとは思いますが、公共施設を借りるとか、それなりのことは何か検討されていらっしゃるのかな、というのはちょっと思いました。</p> <p>今後、この地域は、子どもたちは確実に増えるみたいで、本町小でも児童数が増えるだろうし、児童館でも子どもの安心・安全、暮らしとしての場所としての確保というものをお願いしたいなというふうにすごく思います。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p>
岩重委員	<p>岩重です。私はこの地域じゃないので、うちの子が利用することはないんですけど、今聞いたご意見そのままに、本当に児童の利用が制限されているなと思うんですけども、利用者から何か声は上がってきて</p>

	いないでしょうか。
倉持会長	本町児童館からお願いします。
事務局（大嶋主査）	使えなくなった部屋があることへのご意見ということですのでよろしいですか。
岩重委員	はい。
事務局（大嶋主査）	<p>特に2時以降、自由来館の乳幼児の親子が2階を使えなくなったので、残念がられています。もし空いている部屋があれば、畳を敷いて遊べるような形はとっているんですけども、2時以降は学童になるので使えなくなった点については、できたらまた使えるようにしてほしいというお話をされます。また、小学生が来たときに2階が使えず1階だけになってしまったことで居場所が減ってしまったので、使えるようにしてほしいということは、児童館を利用する子どもからも声が出ています。</p> <p>これから4館合同事業の「じどうかんフェスティバル」が11月の終わりにあるので、そのためにダンスグループが本町児童館でも練習していますが、水曜の午後だけは、その子たちに隣の上の原会館の空いている部屋をお借りしてダンスの練習のスペースを確保しているような状況です。以上です。</p>
倉持会長	何かありますか。
岩重委員	そういう利用者からの声が出ているので、早急に何か対策をとってもらえるといいのかなと思いました。
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにはいかがですか。はい、どうぞ。</p>
清水委員	ふだん平日は2時まで2階で乳幼児にも利用させているということで、学童とのすみ分けができていますけれども、夏休みとかの長期休みというのはどういう形で進んでいますでしょうか。
事務局（大嶋主査）	<p>夏期クラブという児童館行事が7月にありますが、その時期は2階西側を全て使って5日間、行事をしております。</p> <p>また、夏休み中は1階が児童館利用の小学生でいっぱいになってしまうので、2階で乳幼児ひろば事業を実施しています。月曜日と水曜日の午前中、2階西側を使ってやっています。それ以外の曜日は、学童の子が毎日来ますので、朝から1日使えない状況になります。</p> <p>それと、土曜日の学童は1所でやっているので、使える日は児童館の行事等で使っています。</p>
倉持会長	<p>ほかにはいかがですか。</p> <p>なかなか厳しい、限られたスペースの中で多くの利用者がさまざまな</p>

	<p>目的でいらっしゃるの、難しい状況にあるな、という感じですがけれども、何か事務局や児童館のほうからありますか。今のご意見に対して。</p>
大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部長	<p>皆様方からのご意見というのは、本当に我々としても重く受けとめているところでございます。前期からの委員の方はご存じかと思っておりますけれども、小金井市も先月人口が12万人を超えました。一定しばらく人口は増えてくる傾向で、子育て世代も入ってきている状況があるかと思っております。</p> <p>学童の大規模化があり、同時に、当然、全体的にお子さんの居場所という問題もあります。本町におきましては、放課後に子どもが活動する場所自体の大きな問題というところで、私どもとしては捉えているところです。</p> <p>本町児童館、ほんちょう学童との併用というのは、とりあえず9月からスタートさせていただき、平日、またこれから冬休み、春休みを初めて迎えるケースですので、大変恐縮ですが当面の間におきましては、しばらく様子を見ていきたいというところが根本的な考え方としてあります。ちょっと離れたところになります、図書館やプレーパークがあったり、というところもあるかなと思っております。</p> <p>また、中長期的には児童館の建物自体も老朽化しているという問題がございます。市役所自体が、例えばこれから老朽化した公共施設、学校を中心に建物を更新していく場合に、約1,600億円がかかると言われておりまして、公共施設の再配置も今、課題となっております。必ずしも現状がベストだと思っているわけではなく、あくまでも暫定的という形で思っております。</p> <p>すぐに箱物が建てられるかどうかという問題もあるので、空いている物件や土地等も我々としても引き続き注視している状況でございます。</p> <p>とりあえずの間は様子を見させていただきながら、改善できる点は改善をさせていただく。あくまでも短期的という形になってくると思っています。</p> <p>この建物も部屋が狭いという状況もございますが、今の時点でいつというところがなかなか明言できない状況であり、大変恐縮ですが、重要な課題であるということは認識していることで、今日のところはご理解をいただきたいと思っております。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。ぜひ委員の皆さんにも長期的にということですので、今日ここで議題となったあと、しばらく議題には上らないと思っておりますので、その間にお気づきのことがありましたらお寄せいただいで、なるべく話をしていきたいなというふうに思います。ありがとうございました。</p>

	<p>ました。</p> <p>では、次の議事に入ってよろしいでしょうか。それでは配付資料の説明について、事務局からよろしくお願いします。</p>
伏見児童青少年課長	<p>それでは、配付資料の説明の前に、前回ご欠席だった緒方委員に会長職務就任をご理解いただきましたので、一言ご挨拶をお願いできればと思います。</p>
緒方委員	<p>おはようございます。前は欠席させていただきました大変申しわけございませんでした。民生委員をしております緒方と申します。どうぞよろしくお願いいたします。民生児童委員の会長会のほうで今期、子ども・子育て部会というところに在籍しております。今回こちらの会に出席することになりました。大役を仰せつかりまして、初めてのことで、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。会長が、とてもお若い方なので心強いなと思っております。どうぞよろしくお願いします。</p>
倉持会長	<p>よろしくお願いします。</p>
伏見児童青少年課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>引き続き、資料を係長から説明させていただきます。</p>
事務局（田中児童青少年係長）	<p>それでは、資料の確認をさせていただきます。本日、机上にお配りしたものでございますが、本日の次第が1部、資料1、委託館と直営館の比較、両面刷りになっているものでございます。</p> <p>また参考といたしまして、小金井市東児童館業務委託評価報告書、総括部分の抜粋で23年9月発行のものが1部、それと小金井市東児童館業務委託評価報告書29年3月発行のものでございます。こちらは後段の資料の部分だけを省略した34ページになってございます。</p> <p>なお、こちらの評価報告書2種類につきましては、前年度3月までの審議会において配付したものと同一のものでございまして、市ホームページからダウンロードできる資料でございます。</p> <p>それと「児童館だより12月号」を束ねたものと、「青少年育成ハンドブック 平成29年」「じどうかんフェスティバル2017」のチラシをお配りさせていただいております。</p> <p>以上、資料のご不足等ございましたら、お申し付けください。</p>
倉持会長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>それでは、次に進めていきたいと思うのですが、前回の審議会で東児童館の委託先の再選定について、8月から募集を開始するというお話があったと思うのですが、きょうの会議で1次審査の途中経過についてある程度お話を伺えるという形で、経過についてお話を伺おうと思います。</p>



	<p>選考に関する話題が出るといけないので、現在の受託先関係者にはちょっと席を外していただいた方がよろしいかなと思います。</p> <p>では、説明をよろしくお願いします。</p>
事務局（田中 児童青少年係 長）	<p>それでは、事務局からご報告いたします。東児童館委託先については、おおむね5年に1回、公募型プロポーザル方式により選定を行って見直しており、来年4月からの委託について、8月1日から市報、ホームページで公募者の募集を開始いたしました。</p> <p>9月5日に選定参加者への現地説明会を行い、4者に対して説明を行いました。その後、約1カ月の期間をとった後、最終的に2者から企画提案書など必要審査書類の提出をいただきました。10月末時点で提出書類を確認し問題がなかったことから、2者とも1次通過といたしまして、11月29日にプレゼンテーション、ヒアリングによる2次選考を予定してございます。</p> <p>なお、選考委員につきましては、前回、課長からもご説明いたしましたとおり、橋本前児童館運営審議会長に学識経験者として加わっていただき、大澤児童青少年担当部長、伏見児童青少年課長、秋葉子ども家庭支援センター長、児童厚生員として緑児童館主査の森の計5名という形で選考させていただく形になってございます。</p> <p>12月の初旬に次年度の事業候補者が決定いたしますので、次回の当審議会で契約予定先としてご報告できる見込みです。</p> <p>報告は以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。今の報告にありましたように、審査の過程ですので、選考内容といったことについてはちょっと確認するのは難しいと思うのですが、それ以外のことで何か確認したいこと、ご意見等があればと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>滞りなくということで予定どおりに進んでいるということと、前委員長が審査に携わってくださっているということですので、慎重に審査が行われているということかと思います。次回の会議で結果を伺えるということですので、では、よろしいですか。</p> <p>済みませんが、一瞬でしたけれども、席を外していただきました方には戻っていただいて。</p> <p>それでは、議題に入っていきたいと思います。</p> <p>(1)の児童館事業について、です。今回は来年度の計画とか本年度の報告というものがありませんので、児童館事業について率直に意見交換していきたいと思うのですが、まずは配布資料についての説明を事務局からお願いしたいと思います。</p>

<p>事務局（田中 児童青少年係 長）</p>	<p>はい。先ほどご報告いたしましたとおり、現在実施しております東児童館の委託につきましては、既に3月に作成いたしました東児童館業務委託評価報告書を反映した選考基準に基づき、選考が行われている最中でございます。</p> <p>そのため、本日、個別具体的な今後の東児童館の事業内容等の是非のご議論をいただいても、審議会内でのご意見として、2次選考前に選考委員の方に参考としてお伝えする、という形だけになります。</p> <p>本日、委託評価報告書2回分をお配りした意図といたしましては、今回の委託選定に関する東児童館単独の評価云々ということではなく、東児童館を平成18年10月に委託した際に、平成17年4月13日の児童館運営審議会の「児童館の業務運営の簡素・効率化について」という答申がその根拠となったわけですが、それにより事業を充実させてきた内容について、ご議論をいただく材料にさせていただければ、というところでございます。</p> <p>具体的には、乳幼児親子が1日中集える場所の設置、要は常設子育てひろばを週6日6時間の開設でございます。それと、開館時間の延長、これが18時までの開館時間延長となっております。また、高校生世代の取り組みということで、中高生世代向き夜間開館事業でございます。この3つについて、事業の充実を試行として実施してきたわけです。</p> <p>これらについて将来的な修正や変更、追加など総合的にどうであるか、意図としては、例えば開館時間の延長、中高生世代の事業について、その内容が時間として適正だったかどうかとか、そういったことについて今後の小金井市の児童館事業全体の方向性を含めてご議論をいただく参考資料ということでお配りいたしました。</p> <p>また、資料1の「委託館と直営館の比較について」でございますが、こちら、1館は公設民営にして、その経過を見ながら、さらに将来の民間委託のあり方を検討すべきということが、同じ答申の中で民間活力の導入と公設民営化について、という内容で提言されておまして、その際、少ない予算でのサービスの拡充ができているかどうかということも記載されておりましたので、その見地から参考資料としてお配りいたしました。</p> <p>それでは、まず簡単に、資料の数字の見方だけ、ご説明をさせていただければと思います。</p> <p>表面でございます。こちらは4つの事業に関する比較という形になってございまして、18年10月に委託を開始した際の答申を反映して、先ほどご説明いたしました①から③の項目、①常設子育てひろば、②開館延</p>
---------------------------------	---

長、③中・高生世代向け夜間開館、について、現状として市内4館がどう  
いう形で対応しているか、という一覧表となっております。一番右端の  
欄には参考といたしまして、現行の職員体制を記載してございます。

裏面でございますが、市負担の比較、でございます。東児童館は事業運  
營業務の委託であることから、施設の「光熱水費」「施設修繕費」「消耗品  
費」「保険加入費」「補助金申請」等の事務執行については、児童青少年係  
が他の直営3館と同様に行っている状態でございます。

したがいまして、委託先の経費は、基本的に事業を運営する上での「人  
件費」と「労務管理費」のみという形になってございます。市の立場から  
は、労務管理の事務負担が、市が委託契約を行う際の事務負担とほぼ相殺  
されるという考え方でございますので、以下の表の市負担額の比較が事  
実上の委託による費用の節減効果をみる参考となる表となっております。

具体的な読み方として、市の正規職員は1人830万円/年、非常勤職  
員1人240万円/年ということで試算してございますが、これは市の  
負担額ですので、社会保険料の雇用主負担や退職金等の経費を含んだ、市  
が職員1人を雇うためにかかる経費の平均値でございます。そのため、委  
託館の方に年間約629万円/年で記載がある、その他法人運営費、社会  
保険料等の欄については、市直営館は0円になっております。これはそうい  
う読み方をしている、ということをご理解いただければと思  
います。

また、補助金収入の欄でございますけれども、子育てひろば事業につい  
ては、基本的に補助金収入が国・都からあるのですけれども、こちらにつ  
きましては年度毎で変動はありますが、基本的に開設時間と事業の規模  
によって金額が決まってまいりますので、開設日数、開設時間が多ければ  
多いほど、入ってくる金額も増えるという形になってございます。

結果として、支出額から子育てひろば事業で入ってくる分の金額を差  
し引いたものが、この事業における市の負担額という形でこの表は作っ  
てございます。

なお、市全体の流れといたしましては、小金井市行財政改革プラン20  
20における公民連携、アウトソーシングの推進という形で、その中の行  
動計画であるアクションプラン2020というものがございまして、平  
成30年度までに児童館委託2館目に関する課内検討を、また事務方  
である児童青少年課児童青少年係についても、正規職員1名を非常勤職員  
2名とする課内検討、準備、実施等が、平成32年度までに予定されてい  
る状態でございます。

	<p>また、平成28年度から32年度を期間とした第4次小金井市基本構想・後期基本計画の中で、5館目の児童館である一小南小地区児童館の整備も含めた児童館のあり方の検討というのが計画されてございます。ただ、こちらにつきましても、既存の児童館と同程度の規模で試算した場合、3億円を超える建設費に対して、児童館に対しての国や都の補助金は多くても大体10%から15%相当額程度しか見込めないことや、1館増設となった場合、人件費だけでも先ほどの表でもわかるとおりのランニングコストが毎年一定かかることから、解決すべき課題が山積している状態にある、ということでございます。</p> <p>本日は、事業計画や事業報告に関する近況の報告がない会となりますので、お配りいたしました資料等も踏まえて、市内全体の児童館事業のあり方について、委員の皆様にはご議論の中で忌憚のないご意見をご発言いただければ、と考えてございます。よろしく願いいたします。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。今回、先ほども申し上げましたように、事業計画とか事業報告について報告がありませんので、少し自由に意見交換ができそうな会ということになります。</p> <p>幾つか論点はあると思うのですが、事務局からあったように、現在委託されている東児童館がどうかという話よりは、東児童館が委託されたという事例をもとに、児童館の運営のあり方、市全体としての運営のあり方、一方でそれぞれの館の特徴というのがあると思いますので、皆さんそれぞれの立場でご発言、ご意見あるいはご認識されていることをお話しいただきながら、少し意見交換ができたらな、と思います。</p> <p>論点としては、さっきちょっと出していただいたように、受託にかかわって強調された、乳幼児親子が1日中集える場所を設置するという常設子育てひろば、この表を見るとわかるように月曜日から土曜日で6時間常設されたという特徴ですね。</p> <p>それから、開館時間の延長が18時までということで、他館が17時や17時半のところを18時まで、となったということです。</p> <p>また、中学生や高校生世代の居場所の取り組みで中・高生向けの夜間開館事業が行われていて、これを見ていただくと、東児童館と貫井南児童館とで行われている、と。</p> <p>それから、さっき裏面で市負担の話がありましたけれども、予算に対しての効果とかサービスというのを拡充、あるいは質の問題ということもあると思いますので、まずそのあたりのところで、例えばこの表を見ても、委託されているか、されてないかだけではない違いが、たくさんあると思うのですけれども、今後どういうふうにしていけばいいのかと</p>

	<p>いうことも含めてご意見、あるいは情報等を教えていただければ、と思います。きょうは一人ずつ、全員何かを言って帰っていただこうと思いますので、ご遠慮なくいろいろと発言をしてください。</p> <p>じゃ、まず東児童館をご利用されたり、あるいは訪れたり、別のことでかまわないですが、どんな感じかというのを少し教えていただければと思うのですけれど、お願いします。</p>
岩重委員	<p>岩重です。東児童館は乳幼児が遊べる場所がありますので、本当に小さい子もたくさん利用しているなという印象があって、いつでも児童館に行けばたくさん遊べる、そして安全な場所だということで、とても人気があると思います。この常設子育てひろばがあることが、地域の人にも浸透しているし、本当に助かるなというところがあります。</p> <p>小学生もやっぱり多く利用してしまっていて、職員の方もすごくアットホームなので、子どもたちも楽しく過ごしているような感じです。ボランティアの方も多いので、本当に地域みんなで、地域ぐるみのつき合いというような形で運営しています。乳幼児親子がいつ行っても利用できる部屋があるというのは、私も利用していたんですけども、本当にすごくいいことなので、できれば他の館でもそういうことが広がっていくといいなと思います。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかの館でも、という話もありましたけど、いかがでしょうか。これだけ見ると、緑児童館も比較的長く子育てひろばが開いている。どなたか緑児童館のご事情をご存じの方いらっしゃいますか。お願いします。</p>
吉田委員	<p>よく事情を存じていた時代があった、というだけなんですけど、子どもが3人、緑児童館にお世話になりました。よく児童館の前は通るのですけれども、平日の乳幼児向け事業の時間帯に関しては、今日はこの曜日なのだというのがすごくわかるのが、自転車の多さですね。自転車やベビーカーの多さで、何となく今日の活動の内容が外から見てもわかる。もっと言えば、最近は自転車があっても、すごくいい自転車になったなというので、すごくショックも覚えています。</p> <p>一昨年、工事をしていただいて、遊戯室がとてもきれいになりましたけれど、小学生の子どもにとっては狭いとか、汚いというのは、あんまり関係ないと言うのも変ですけど、とにかくどんなスペースでも子どもは一生懸命考えて遊んでいるので、どちらかという、きれいさに関して気にするのは、乳幼児と一緒に来る親の目だと思います。その施設が気に入るか気に入らないか、というところで、そういう意味では保護者が必ず一緒に来る乳幼児に関しては、とてもきれいになってよかったなと思って</p>

	<p>います。とても温かみのあるフロアになっています。</p> <p>午後は小学生がいっぱい来ていますけれど、狭いなりにも必死でみんな遊び場所を見つけているし、広い部屋よりも細かい個室があったほうが、子どもは遊び方がそれぞれ全然違うので、個室で静かに遊びたいとか、こもりたいとか、ボール投げをしたいとか、多分いろいろな子がいると思うので、子どもなりに努力して遊んでいるなと思います。</p> <p>あと、緑児童館は、夏期クラブも拝見したんですけれども、卒業生というんでしょうか、中・高校生世代、もっと大きい子たちがボランティアで来ていただいて、すごく長く活躍されていて、青空の団とか名前がついているんですけれども、いつものメンバーがきょうも来ているなという感じで拝見しています。とてもいい環境だなと思っています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。逆に、本町児童館、さっき拝見した2階のスペースも含めて、常設する場所がないと思うのですが、本町とか貫井南は、やや曜日や時間帯は短いと思うのですが、ひろばに関して、いかがでしょうか。</p>
中川委員	<p>本町は、今は利用できない時間があるというのもあるのですが、私が本町児童館を利用していた頃は自由に使えるときに利用させていただいていたのですが、すごく来やすいというか、行きやすい場所で、いろいろ相談事とかも相談しやすい場所であったので、児童館での乳幼児の事業についても、そういう曜日を区切ってあっても、すごくありがたかったです。多分、今もそういうお母さんはいらっしゃると思うのですが、今は逆に時間で制限がされているので、使いづらく思っているお母さんたちもいらっしゃるのかなと思います。</p> <p>また、小学生が多いので、まず玄関を入った瞬間、うわっ、すごい人というイメージで、昔から廊下にすごく群がっているのが本町児童館の特徴なのかなというか、昔からそういう形ではあったので、逆に、あとから来る子どもたちは、あっ、いるな、いるな、みたいな感じですぐ入っていける。大嶋先生もそうですし、すごくウェルカムな感じで迎えてくださるので、私はとても利用しやすい場所だと思います。</p> <p>ただ、現状に関して言えば、2階の本とかいっぱい置いてあった場所が、高学年の女子とかが、ちょっとみんなと違うスペースで何か相談をしたりする、そういうスペースとして貴重だったと思います。私の上の子のときも、静かに話したい時とかは2階を利用していたので、そういう子たちは今、居場所はどうかのかなというのがちょっと心配です。</p> <p>夏期クラブに関して、長年、自分が小学校に通っていた子どもたちが、ボランティアとして中学生になって、高校生になって、忙しい日が</p>

	<p>あるので、手伝うよってという子が結構、本町児童館にも多いので、私も親的な視点でこんなに成長したのね、なんて思いながらお手伝いしている子を見られて、自分の子どももそうであってほしいなと思わせてくれる夏期クラブの先輩方もいらっしゃるの、利用しやすい場所だし、ああいうお兄ちゃんになりたいねとか、お姉ちゃんになりたいねという子の話も結構聞くので、そういう意味では子どもたちからは利用しやすい場所だと思いました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
山田委員	<p>貫井南児童館ですけれど、この4館の中で学童保育所がついてないのは貫井南だけです。なので、ほかの児童館よりはちょっとスペースに余裕があるのかなと思います。以前の審議会のときに、貫井南児童館は部屋数が少ないんじゃないですか、と聞いたときに、部屋数は他の館と一緒に言われたんですけど、今、本町児童館を見た後で、ずっと子育てひろばをやるんだったら、どの部屋になるのかな、とか思いながら考えたのですけれど、スペースの区切り方がほかの児童館と違うので、常設の子育てひろばというのは厳しいかなという感じがします。</p> <p>ただ、小学生や中・高校生のほうが多いという話を聞いているので、夜間開館とかは人気なんじゃないか、と思います。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。最初、子育てひろばのほうに関して言うと、主に乳幼児を育てているお母さんたち、保護者の方の居場所であったり、相談機能ってすごく大きい、常設されれば、もちろんそういうことがあるのにこしたことはないんじゃないかな、というのもあるんですけど、民生委員さんのお立場からすると、どうでしょう。</p>
緒方委員	<p>私も貫井南児童館に30年という、大昔のような感じになるのですけれど、子どもが2人ともお世話になりました。専門相談事業は貫井南にはないですけれども、ほかの館を見るとあるところもあるので、子育てするお母さんの相談する場としては、とてもいいんじゃないかなと思います。また、なかなかお手伝いにいけなくて、申しわけないので、いつもこちらでやっている事業に、中・高校生のボランティアの方たちがよく来てくださっているの、貫井南もリーダーはよく育てているのではないかなと思っています。</p> <p>また、民生児童委員は小さいお子さんと接する機会があまりないので、前は民生委員の事業の中にあっただんですけども、今は貫井北センターだけでおつき合いすることになっていますので、できれば自分でも余裕を持って、時間をつくっていきたいなと思っています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。スペースの問題もあるとは思っているので、単純に全</p>

	<p>ての館に同じように、ということではないんじゃないかと思いますが、どうでしょうか。</p> <p>あと、別に順番どおりじゃなくてもいいんですけど、さっき言った中・高校生向けというところなんかはどうかなというのと、さっきの開館時間の問題はどうかというのがあるんですけど、この点について何かご意見や、あるいは現状を見ていてどうかというのがありますか。</p>
中川委員	<p>中川です。ちょっとお聞きしたいのは、中・高校生向けに夜間開館をされている東児童館であったり、貫井南児童館に来る子たちというのは同じメンバーが来ているのか、それとも常に違う子たちが利用しているのか、というのはどうなのかなと。</p>
倉持会長	<p>これは各児童館に聞いたほうがいいかな。いかがでしょうか。東児童館から。</p>
事務局（高野）	<p>高野です。東児童館では大体いつも同じようなメンバーが水曜日になると集まってくるという感じもあるのですが、今は中学生がとても多くて、中学生男子が集まっています。また、高校生になった子たちが学校がばらばらになってしまうので、水曜日になると毎週同窓会のような形で、例えば2週に1回、高校生の女の子とかがきて、最近、学校ではこうだよという情報交換をしていたり、そういう場所になっている場合もあります。</p>
倉持会長	<p>比較的固定メンバーだけど、毎週じゃないという意味でいうと、少し集まり方にも変化があるということですか。</p>
事務局（高野）	<p>はい、そうです。</p>
倉持会長	<p>人数的にはどんな感じでしょうか。</p>
事務局（高野）	<p>10人前後という形です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>貫井南のほうはどうでしょうか。</p>
事務局（山田）	<p>貫井南児童館の山田です。貫井南児童館では、今年の6月から隔週の夜間開館が毎週に拡大ということで行っています。</p> <p>来るメンバーは大体、東児童館と同じなので、中学生の男子が多いです。大体、固定のメンバーですが、月に2回ほどイベントを打っているんで、それに合わせて例えば、貫井南児童館はバンドスタジオがあって、スタジオでバンドスクールなども行っているんで、それに合わせて、そういうときだけ行事次第で来る子もいます。固定的に常連という形で来ているお子さんは大体メンバーは決まっています、人数は多分、東児童館と同じ10人から20人の間で、テスト前だと増えたり減ったりします。また、学校の行事に左右されたりするので、いろいろです。</p>



倉持会長	いかがですか。
中川委員	わかりました。 あと、もう一つ気になるのは、時間を延ばしたことによって、職員の方というのは、人数は何人でその時間帯にいらっしゃるのでしょうか。
倉持会長	お願いします
事務局（高野）	東児童館は職員2人体制で、大学生のボランティアの方に入っていたいて、3人体制でその時間帯はいるようにしています。
倉持会長	貫井南はどうですか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。貫井南児童館は、本年度に関しましては行事が月2回あるのですけれども、月2回ある行事のときには正規職員が2人残りまして、ほかに大学生のボランティアが1人つきます。行事がないフリースペースのときには、職員1人と学生ボランティア1人という体制で行っております。
中川委員	夜間というのは通常の日中の時間帯とは違って、メンバーが必要な部分がとても多いのかなと思ったりもして、それによって職員の方も朝からずっとその日は最後までいらっしゃるような形ですか。夜8時まででは必ず。
倉持会長	では、東児童館、どうぞ。
事務局（高野）	高野です。東児童館は常勤職員が3人おりますので、1人が朝から6時ごろまでの勤務になりまして、夜の勤務は昼の11時半から出勤しまして、8時半までという勤務になっています。
倉持会長	貫井南児童館。
事務局（山田）	貫井南児童館も同様です。朝から出勤する職員と11時半から出勤する職員ということでシフト勤務をしています。
倉持会長	さっきの表のお金の話と関係するかもしれませんが、単純に金額で比較できない部分ですね。非常勤職員の人員体制で少し違っている面があるかもしれないです。 今、少し中・高校生向けの開館時間のことをおっしゃったんですけど、その辺いかがでしょうか。延長したことによって近隣からのクレームというんですか、例えば中・高校生がうろうろしているぞみたいな話というのは特に出いていないですか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。貫井南児童館はほかの児童館と違しまして、公民館と併設の施設になっています。公民館のほうは毎日ほとんど夜10時まで開いておりまして、公民館のほうはシルバー人材センターの方が夜間管理を行っております。常に建物としては午後10時まで毎日あいていますから、児童館の夜間開館が月2回から4回になったからといっ

	てクレームということはありません。声ですということでご近所から言われたりすることはあるんですけども、それは夜間開館が2回が4回になったからというトラブルではございません。
倉持会長	東のほうはどうですか。
事務局（高野）	東児童館もちょっと声がうるさい、というようなお声はいただいていますけども、5時以降は必ず窓を閉め切って、なるべく声が漏れないようにこちらも気をつけているので、最近はそういったご意見はいただいています。
倉持会長	ありがとうございます。 ほかにはいかがでしょうか。
中川委員	中川です。ちょっと気になったのは、中・高校生世代で、中学生も8時までいたとしたら、その後の帰りというのは、ちょっと心配なんですけど、そういうのって親御さんから何かあったりということもないんですか。
倉持会長	どうぞ。
事務局（高野）	東児童館の高野です。そういったことを言われたことはありませんが、中学1年生のお子さんには必ず、最初に中高生タイムに来たときに、親御さんの許可をとってくるようお願いをしています。児童館たよりでもお知らせはしているんですけども、中高生タイムをよく知らない保護者の方もいらっしゃいますので、もし中学生が急遽どうしても残りたいという場合は、必ず保護者の方に確認して、こういった事業があるので、残りたいというふうに交渉して、残っていいよと言われてたら残っていいし、もし7時で帰っておいでと言われてたら、7時に帰ればいいよという話をし、そのように対応しています。
倉持会長	貫井南はどうですか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。貫井南児童館も特に小学校6年生から中学校に上がる4月、5月は初めて来るお子さんが多いので、東児童館と同様に、必ず親御さんに連絡をしてから来るように指導しています。あと、毎月のたよりでも、その旨を保護者の方へということでご案内しておりますし、今のところ、中学生の親御さんから帰ってこないということでご連絡を受けたりとか、そういったトラブルはございません。
倉持会長	そのほかにはいかがでしょうか。小学生の居場所もさることながら中・高校生の居場所も、もちろん学校に順調に行かれていますお子さんはいいんでしょうけど、思春期の難しい時期ということもあると思うので。実際にいらっしゃっている中・高校生のお子さんと、ボランティアにかかわっているお子さんというのは違う層なのか、いらっしゃっている中・高校生の

	子どもたちの来ているニーズというか、その辺というのは職員の方から見てどうでしょうか。少しご感想をいただければと思うんですけども。
事務局（高野）	ボランティアに来ている子と。
倉持会長	ボランティアで来ている子と、中高生タイムで来ている子が重なるか重ならないかということと、中高生タイムで来ている子どもたちには何か寂しさだったり、あるいはどんなニーズがありそうかという、友達と遊ぶ時間を延ばしたいよ、とか、見ていて何か感じる、様子で見えるところがあれば、ということなんですけれど。
事務局（高野）	6年生ぐらいから6時よりも長く遊びたいというのを、特に男の子は強く言っているので、中学生になると、やっともう少し遊べるという気持ちを持って、居場所として友達と夜遊べる場所として来る子もいますし、高校生ぐらいになると、ボランティアを経験している子が多いので、そういう高校生とのかかわりの中で、自分もボランティアに行ってみようと思ってボランティアをしてくれるお子さんが増えたり、そういう子が中学生だと、どんどん中高生タイムに来ている友達を誘ってくれるので、そこで次の年の夏期クラブにどんどんボランティアで来てくれたりして、そういうふうにボランティアとしてのつながりもできている場所かなというふうに思います。
倉持会長	貫井南のほうはいかがですか。
事務局（山田）	<p>貫井南児童館の山田です。基本的に夜間開館でやっているところは居場所事業ということで行っているのですが、その中でイベントとしてボランティア養成ということで、野外料理の研修ですとか、ボランティアで行事をするのでということで、企画会議みたいなことを行っています。そういった中で、最初はボランティアに全然興味のなかったお子さんたちも少しやってみようかなということで、誘うきっかけとして、こちらのほうでイベントを行っています。</p> <p>ボランティアをやっているから夜間開館に来るというわけではない子がほとんどで、もともとは居場所として、貫井南児童館はスタジオもあつたりしますので、スタジオでバンドの練習をしたりとか、あと奥の部屋で卓球をして遊んだりとかいうお子さんを、こちらのほうでこういった企画もあるよということでご案内をして、それで興味を持った子がボランティアで来てくれるような形になっています。以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
山田委員	本町児童館と緑児童館に来ている子で、長くやってくれたらいいなと

	<p>いう声とか、あとは、うちは本当は本町児童館が近いんだけど、やってないから、貫井南に行くという中学生とかはどうなんですか、二中とか一中とか。緑中の子はちょっと遠いですけど、そこら辺はどうでしょうか。</p>
倉持会長	<p>開館時間が短い、これは小学生も関係すると思いますけど、もっと長くいたいというのが子どものほうからあるかどうかという話、それは東児童館以外かな。あるいは中学生の利用がエリアを越えてあるかどうかということですね。いかがでしょうか。じゃ、本町からいきますか。</p>
事務局) 大嶋)	<p>本町児童館、大嶋です。貫井南児童館の夜の行事やライブ等がありまして、4館合同事業で友達同士になった中高生が貫井南の行事のライブに出演したり、手伝いに行ったりという形で、貫井南の夜間の行事に行ったりすることはあるようです。</p> <p>また、本町児童館は夜間開館を行ってないので、5時半まで遊んだ後、今、サイリウムを使ったダンスの練習をしている子たちは、暗くてもできるので、公園でその後少し残ってやっていたり、隣に公園があるので、そこで遊んでから練習したりして帰っているような状況になっています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、次に緑児童館から。緑児童館はいかがですか。要望とかはありますか。</p>
事務局 (森)	<p>直接のですか。</p>
倉持会長	<p>はい。</p>
事務局 (森)	<p>遊びが高じれば、全ての子どもからまだ帰りたくないという意見は毎日のように出ております。何時まで児童館をあければいいのかというのは別の問題ですが、中学生、小学生にかかわらず現在5時半ですので、もうちょっとあけてくれという意見はあります。児童館が終わってからどこへ行くのかというのはわからないところもありますが、緑センターという公民館施設が近くにあるので、そちらに行っている子どももいるというふうに聞いております。</p> <p>それと、東児童館の夜間開館は週1回ですけれども、緑児童館の近隣は緑中学校ですけれども、東児童館に行っているというのはあまり聞いたことはありません。ただ、都立小金井北高等学校が近隣にあるのですけれども、そこは子どもたちの音楽活動が盛んなようで、貫井南児童館のスタジオで練習をしている子どもたちが多いということは、ここ10年の間にありました。ただ、数年前に貫井北町に公民館施設が1つできまして、そこにスタジオができていますので、そちらのほうがより近いということで今はそちらに流れている子のほうが多いというふうにも聞いております。こんなところでよろしいでしょうか。</p>

倉持会長	ありがとうございます。じゃあ、貫井南。
事務局（山田）	<p>貫井南児童館の山田です。開館時間は、もう既に他の館が言ったことと同じなんですけど、今は暗くなるのが早いので、それほど帰りたがらない子は多くはないんですけど、日が長い明るい時間はもう少し遊びたいという声がよく聞かれます。</p> <p>ほかのエリアからそういった夜間開館に来るか、ということなんですけれども、スタジオがあることで、そのスタジオを目的に市内あちこちから来ているお子さんがいらっしゃいます。</p> <p>また、行事に参加したいので、ということで来るお子さんがいるんですけども、ふだん常連として遊びで来るお子さんは、中学校にしても高校にしても近隣のお子さんが主体です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆さんから、開館時間、あるいは中・高校生の事業について何かご意見等があればと思いますけど、いかがでしょうか。</p>
中川委員	<p>中川です。開館時間の延長で6時までという話について、今、本町児童館を利用させていただいていて5時半までなのですが、ちょっと暗くなってきて、小学生の子どもたちの帰りを考えると、6時は親としてはとても心配になるので、5時半、低学年の子は5時っていうのは変わらないでほしいな、と思います。やっぱり帰りが心配です。うちの子は1人で帰ってくるので、というのはあります。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかの委員さん、いかがでしょうか。何かありますか。</p>
山田委員	<p>早く暗くなると5時でも真っ暗なので、変えるのだったら季節ごととかもありだと思います、低学年、高学年で。高学年だと自転車なので、暗い中、小さい自転車ってライトがついてなかったりするんで、それでびゅんびゅん走られると怖いのもあります。明るいうちに帰って来られる時間がいいと思います。</p>
倉持会長	ありがとうございます。
岩重委員	<p>岩重です。私は逆に5時までだと、学校から帰ってくるのが4時ぐらいなので、遊ぶ時間がほとんどないとか、ちょっと遊んで、やっぱり遊び足りなかったな、みたいな気持ちも多いと思うので、6時は6時ですごくありがたいなと思うんです。もちろん今の時期は暗いので、それは各家庭の判断で5時半には帰ってきなさい、6時にはもう閉まるんだよというのを教えるといいのかなという考え方をしているんですけども、やはり5時はちょっと短いかなという感じがします。</p>
倉持会長	ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

	<p>利用している年齢とか、各家庭の親御さんたちの働き方とか、考え方がいろいろあると思うんです。それぞれの事情に応じていい利用の仕方をしてもらうのが一番いいと思うんですけれども、一律にはなかなか、というのもあるでしょう。</p> <p>さっきの裏面のお金の問題がありましたけれども、いま委託に対して、全体的にサービスを少し広げたということにも関わるんですが、もう1館の委託の検討を進めるというのは、さっき事務局から説明がありましたし、単純に委託の是非ということだけでもないかもしれないんですけど、この辺を含めて、少ない予算でのサービス拡充という目的が本来あって、今のようにやっていくという状況になっていますけれども、もう少しこの辺で皆さんのご意見、あるいはご要望などあれば、今のうちに聞ければと思うんです。児童館の運営の在り方ということについていかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
山田委員	<p>正規職員さんは本町だけが2人ですけど、なぜでしょうか。それで回っているのでしょうか。ほかの館は3人なので。</p>
事務局（森）	<p>緑児童館の森です。この経緯ですが、過去に第1次行革というのがありまして、その中で職員の定数の見直しというのがありました。今から約20年前のことです。それまで児童館直営館は4館ありました。正規職員3人、計12人で回していたのですが、その中で2館の職員を1人減にするということになりまして、一番最初は東児童館と貫井南児童館が1人非常勤嘱託職員になりました。それで、全体で正規職員10人プラス非常勤2人という体制になりました。</p> <p>その後、途中、貫井南児童館の非常勤を本町に移して、しばらく本町児童館と東児童館だけ2プラス1人体制で運営していたんですが、平成18年10月に東児童館を委託した際、そこでもう一度見直しがありました。組合と市の中でのいろんなやりとりがあったんですけども、現在は本町児童館のみが2プラス1という形で運営を行っております。</p> <p>基本的には児童館の中で、先ほどの試行事業を除いては、全て同じような形で、例えば子育てひろば事業、幼児グループ、午後の自由来館は当然ですけども、小学生対象のグループ活動、さまざまな行事、それから後でまたご説明をしたいと思っているんですけども、4館合同事業の「じどうかんフェスティバル」等については全て同じような形で行っております。</p> <p>正規職員が週40時間勤務で、変則勤務なので完璧ではありませんが、基本的には週5日間勤務になるのに対して非常勤職員は週30時間で週4日間の勤務になります。なので、当然そこは臨時職員で補った</p>

	<p>り、他館からの多少の応援もあります。</p> <p>その中では、子育てに入ったばかりの職員もいますので、その辺の育児関連の権利というのは児童館の職員にも当然ありますので、通常の勤務時間よりもちょっと早く帰る、ということもあります。その中で、繰り返しになりますが、他館からの応援や臨時職員での対処となっているので、正規職員3人で行っている館よりは、多少はきつい面もあるということです。</p>
倉持会長	ありがとうございました。いかがですか。
山田委員	頑張ってください。しっかりやって増やしてください。
倉持会長	<p>どうなるかはわかりませんが、委員としては意見を言うことはできませんから。子どもの安全・安心を確保しつつ、充実した居場所を保障するためには質の高い職員を一定数以上配置してほしいということはある、言っていることだと思いますけれど、現状を教えてくださいましてありがとうございました。</p> <p>いかがでしょうか。さっきもう1館委託という話もあり、あるいは5館目の構想はあるけど、さっきの説明だと実際厳しいというお話もありました。ですが、市全体の児童館のこれからということである、これは押さえておきたい、ということも含めて、ご意見のほうはいかがでしょう。</p>
清水委員	<p>東児童館で専門相談事業として、子育て相談と思春期相談ということで、しっかり事業として組み込まれていらっしゃるのですが、ほかの児童館でも多分、職員の方はいろいろご相談を受けたり、子育て世代の親子さんの見守りとか、あと不登校のお子さんの受け皿としてもやっていますというのがずいぶん話にも出ましたけれども、そういった地域の親子の見守りはとても大事な部分で、そういったご相談を受けたときに、学校はもちろんだと思うのですが、もっとほかの専門機関などと連携をとって、ということもあるのでしょうか。</p>
倉持会長	いかがでしょうか。
事務局（森）	<p>緑児童館の森です。今、おっしゃられたように、児童館では専門相談事業を東児童館で行う以外に、専門的な知識をお持ちの方をお招きしての講演会等の中での相談会というのは、やっております。</p> <p>ただ、私たちが一番目指しているのは、基本的には相談にならないけれども、相談につながるのではないかとという気づきの部分です。日常的に子育てひろば事業を行う中で、スタッフの臨時職員も含めて、我々職員が保護者等とかかわり、話を聞き、あるいは子どもと保護者の方の関係を見ることで、そこでいろんなことに気づいたりということです。中</p>

	<p>にはすぐに、これは何かしなければならぬということもあります。特に虐待については、それをつなぐとかということではなくて、法的に通報しなければならぬという義務がありますので、それは保護者の方との関係以前に、市のルールにのっとって対応しなければなりません。</p> <p>それ以外は基本的には保護者との関係の中で、例えば問題があるような乳幼児のお子さんとお母さんの来館については、こちらのほうから、例えば今、市には発達支援センターがあります、あるいは子ども家庭支援センターもあります、その辺にある相談事業を勧めてみたり、あと我々の知識の中で、大学の専門相談事業もありますので、そちらに行ってみたらどうかという話もしたりというのはあります。</p> <p>それから、小学生以上ですね、特に不登校です。不登校もいろいろありまして、1つは、理由があって、恒常的に行けないお子さんと、あと学校に行けなくはないんですけど、今日はさぼってしまった、というような子どもたちと2種類あります。前者については、本町児童館のほうの例として、昨年度、恒常的に受け入れをして、その中でスクールソーシャルワーカーの方が児童館のほうに見えて、そこで職員と連携し、保護者も含めて子どもの対応をしていくということがありました。基本的に我々のスタンスとしては、保護者を介すということがあります。保護者の承諾なしに学校や他機関と関係をつなぐというのはなかなか難しい面もありますので、何度も繰り返しますけども、保護者との関係の中から他の機関につなげることをお勧めしたり、積極的にそういう形で支援をするということが私たちのできることだと考えております。よろしいでしょうか。</p>
倉持会長	何かご意見はありませんか。もっと積極的にいろいろあれば。
清水委員	学校で見せる顔、家庭で見せる顔とは違う顔を児童館では見せるというお子さんもいらっしゃると思うので、本当に職員の方のそういう気づきというのが、その子にとって大事であったり、お母さんにとってあるのかなという部分もあるものですから、その辺は本当にもうお任せするしかないですけども、そう思います。
倉持会長	ありがとうございます。 そのほか、全般的なことでも構いませんが、何かありますでしょうか。はい、どうぞ。
清水委員	ひろば事業のほうで、先ほどの子育てひろばですが、スタッフは1人しかいらっしゃらなくて、あとボランティアの方ですか、いらっしゃったのが。
事務局（大	本町児童館、大嶋です。専任の臨時職員のひろばスタッフを1人は配



嶋)	置するようにしています。
委員	じゃ、ボランティアではないということですか。
事務局（大嶋）	はい。
清水委員	先ほど本町児童館だけ正職員数も少ないということでありまして、こういうひろば事業もボランティアだとか、その辺が見守りとしてちゃんと完成できていないのでは、と思ったものですから。職員なんですね、わかりました。
倉持会長	<p>ありがとうございます。きょう、大分委員のご意見の中にも出てきたと思うんですけど、ボランティアの方は、他のいろんな形でサポートしてくれているという話があって、一方できちんと専門性を持つ職員がいるということも重要性があると思うんですけど、一方でまた違う役割として、職員の肩がわりができるわけではないと思いますが、いろんな形で子どもに携わるといってボランティアの醸成ということを改めて私たちも認識して、特に若いボランティアでしょうね、児童館を卒業するわけじゃないんだと思うけど、利用者だった子どもたちが育っていく過程で、自分たちの後輩のお手伝いをする。多分それは中学生や高校生、大学生にとっても貴重な学びの場や成長の場所になっていくだろうし、子どもたちにとってはいいモデルになっているということで、そういうのを育てていくのも職員さんの役割なのかもしれないし、重なってくる部分なので、育てられる環境の整備というのは必要かなと今日、私は思いました。</p> <p>清水委員がおっしゃるように、いろんな機関が連携して、地域の中で育ち合えるような環境づくりというのに児童館が子育て世代を支えていければというのは大事な観点だなというふうに思いました。</p> <p>ほかに、ご意見が、ご質問でも結構ですが。</p>
関委員	この表は比較って書いてありますが、なかなか比較ができないような表だなと思いますね。
倉持会長	お金の話は突っ込んでやりませんが、単純に数字で比較できない難しさがあり、前は特に事業の様子、中身の話を聞きましたけど、今回は運営のあり方という、単純に金額が高いから低いからという話でもない。しかし、限られた予算の中で充実した子どもの居場所をつくっていくというところもあるわけです。
関委員	本町児童館の金額で、他館より抑えていることで、どこか職員さんに負担がかかっているということはないのでしょうか。
倉持会長	金額上、本町児童館は少し少ないように見えますからね。

関委員	何かこう、本当はここで臨時職員さんがいれば楽になるよというところまで抑えられているのか、とか。
倉持会長	どうでしょうか。どなたに聞けばいいのかな。
伏見児童青少年課長	<p>先ほどご説明したとおり、正規職員、非常勤の配置の関係で、本町児童館については正規職員2名ということになることから、数字上で見てしまいますと、市の負担という意味で、正規職員を830万円/年、非常勤を240万円/年で計算しておりますので、正規職員1人分830万円/年分がもろに少なくなると、表の表示上はこういう結果になってしまいます。</p> <p>ただ、ご説明したとおり、正規職員が2名だから人員的に何か不足しているということは、この場で職員のほうも言えないでしょうし、実際のところ運営上、そういう問題がなく運営しているというふうに責任ある立場としてはお答えさせていただくと同時に、表の表示は申しわけありませんが、こういう表示にならざるを得ないということで、職員の不足分については臨時職員等での一定の対応は措置している、ということでお答えさせていただきます。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。限られた中で一生懸命頑張ってくださいということでしょうか。少し正規職員の手が少ないのでは、ということでもあるかなということですね。</p> <p>きょうは特に皆さん、まとめなければいけない、結論を出さなきゃいけない会ではないので、言いつ放しでいいということですけども、何かこれは最後に言っておきたいとか、聞いておきたいということはありますでしょうか。はい、どうぞ。</p>
関委員	関ですけど、このあたりのところで最近気づいたのは、北町センターの図書館のフリースペースに中学生が結構多く入っているんです。本町児童館は開館されていない時間でも、遊びのグループがあって、スペースがあれば、子どもはそういうところに流れていくんだなということを感じました。
倉持会長	<p>そうですね。私も公民館の畑の話ですけども、公民館でも小学校高学年とか中学生がたまっているというのを聞いたりします。本人たちがいいと思う居場所というのほどなのか、というのもあるんでしょうけれども、大人だったら安心できる場所が確保されているなというのがありますね。</p> <p>ほかはいかがですか。次回はまた少し議事がありますけれども、お気づきの点があったら、児童館運営審議会の委員としてぜひいろいろとお寄せいただきたいと思いますので、子どもたちの様子、あるいは保護者の皆</p>

	<p>さんの様子というのを生活の中でもごらんいただければなと思います。ありがとうございました。</p> <p>(2) のその他のところで、事務局のほうから何かありますか。</p>
事務局 (森)	<p>緑児童館の森です。先ほど資料の中で確認させていただきました「平成29年度小金井市児童館4館合同行事 じどうかんフェスティバル2017～ここからはじまる物語～」というチラシについて、最後に宣伝をさせていただきます。</p> <p>平成22年度より取り組んでまいりました、子どもたちの意見表明と主体的な活動の場という趣旨のもとで取り組んできました児童館4館での合同事業ですが、「じどうかんフェスティバル」という名前をつけてから、今回5回目になります。チラシにありますように、「じどうかんフェスティバル2017」ということで、来る11月26日の日曜日午前11時から午後4時まで、小金井第三小学校の体育館をお借りして行います。</p> <p>内容については、ここにありますとおり、子どもたちの、歌ったり踊ったりというステージ発表と、児童館ごとに子どもたちが準備をしてまいりましたお店等、ブースと呼んでおりますけれども、そういった形ものを配置した、小金井の児童館のお祭りというイメージでやります。毎年天候には恵まれてないフェスティバルなんですけれども、雨天でも行いますので、お時間がありましたらぜひお越しください。</p> <p>昨年度、本町児童館の設立50年、小金井市の児童館事業が始まって設立50周年の記念式典にあわせて、宮地楽器ホールをお借りしてやったんですが、今回はホームグラウンドというか、過去にやってきました小金井第三小学校の体育館に戻って、また華々しくやりたいと思いますので、ぜひ期待をして見に来ていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。11月の最後の日曜日に第三小学校の体育館ということですので、雨が降っても大丈夫だそうですので、ぜひ皆さん足をお運びください。</p> <p>ほかには何かございますか。委員の皆さんから何かございませぬか。事務局や職員さんからは大丈夫ですか。</p> <p>それでは、平成29年度第2回小金井市児童館運営審議会を終了したいと思います。</p> <p>次回は2月に開催したいと思っておりますけれども、日程、資料のほうはまた後日ご連絡いただけたらと思いますので、ご参加をよろしく願いしたいと思います。</p> <p>きょうはどうもありがとうございました。</p>

○ 当日資料・参考（市ホームページへの掲載物、東京都等の発行・配布物を除く）

資料1

委託館と直営館の比較

1 4つの事業に関する比較

東児童館では平成18年10月に委託を開始した際、平成17年4月13日の児童館運営審議会の答申「児童館の業務運営の簡素効率化について」を反映し、

- ① 乳幼児親子が一日中集える場所の設置＝常設子育てひろば（週6日、6時間/日）の開設
- ② 開館時間の延長＝18時までの開館時間延長
- ③ 中学高校生世代のとりくみ＝中・高校生世代向け夜間開館事業を開始した。これらの事業に関する平成29年10月現在の各館の対応状況は以下のとおり。

施設名	子育てひろば事業		開館時間	中・高校生世代向け夜間開館事業	専門相談事業	参考：職員の体制
	開設時間	職員数				
東児童館	月～土 10:00～16:00 (常設)	2名(職員・臨時職員)	月～土 9:00～18:00 中・高校生世代向けの夜間開館事業時のみ～20:00夜間開館	毎週水曜(月4) 18:00～20:00	子育て相談(年12回) 思春期相談(年12回)	正規職員：3名 非常勤職員(99時間/週、4名シフト) 臨時職員 年1,537時間
本町児童館	月、水、木 10:00～14:00 (3日4時間)	2名(職員・臨時職員)	月～土 9:00～17:00 ※1 開館延長期間は9:00～17:30	—	—	正規職員：2名 8:30～17:15(開館延長期間は8:50～17:35) 非常勤職員(30時間/週、1名) 臨時職員 年778時間
貫井南児童館	月、水、木 10:00～13:30 (3日3.5時間)	2名(職員・臨時職員)	月～土 9:00～17:00 ※1 開館延長期間は9:00～17:30 中・高校生世代のための夜間開館事業時のみ～20:00夜間開館	毎週金曜(月4) 18:00～20:00	—	正規職員：3名 8:30～17:15(開館延長期間は8:50～17:35、中・高校生世代向け夜間開館事業時は変則勤務対応) 臨時職員 年361時間
緑児童館	月～金 10:00～15:00 (5日5時間)	2名(職員・臨時職員)	月～土 9:00～17:00 ※1 開館延長期間は9:00～17:30	—	—	正規職員：3名 8:30～17:15(開館延長期間は8:50～17:35) 臨時職員 年820時間

※ 1 開館延長期間：小学校の三期休業日を除く月～金

2 市負担の比較

東児童館は事業運営業務の委託であることから、施設の「光熱水費」、「施設修繕費」、「消耗品費」、「保険加入費」、「補助金申請」等の事務執行は、市児童青少年係で他の直営3児童館と同様に行っている。従って、委託先の経費は基本的に事業を運営する上での「人件費(賃金・報酬等)」と「労務管理費」となるが、市の立場からは労務管理の事務負担は市が委託契約を行う際の事務負担とほぼ相殺されることから、以下の表の「市負担」額の比較が事実上、委託による費用節減の効果となる。

	単位(円)							
	正規職員	非常勤職員	臨時職員	その他(法人運営費、社会保険料等)	講師・指導者謝礼	支出額計①	補助金収入(子育てひろば事業)②	市負担(①-②)
東児童館	11,345,839	7,365,600	1,399,080	6,294,287	810,500	27,215,306	5,132,500	22,082,806
本町児童館	16,600,000	2,400,000	801,340	0	138,400	19,939,740	1,810,500	18,129,240
貫井南児童館	24,900,000	0	371,830	0	328,000	25,599,830	1,810,500	23,789,330
緑児童館	24,900,000	0	844,600	0	138,400	25,883,000	4,574,500	21,308,500

※ 市直営は正規職員：830万円/年、非常勤職員：240万円/年で試算(社会保険料の雇用主負担・退職金等の諸経費も全て含んだ、職員1人を雇うためにかかる経費の平均値であるため、「その他」が0円になる)。なお、委託先の諸経費は「その他」に含まれる。